



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 60 名 出席率 81.08 % 前回出席率 77.03 % 修正出席 62 名 確定出席率 83.78 %

四 つ の テ ス ト

- ㊦ 真実かどうか？
- ㊧ 好意と友情を深めるか？
- ㊨ みんなに公平か？
- ㊩ みんなのためになるかどうか？

会 長 報 告

川村 徳男 君

1. 恒例により歳末助け合いで、本日の例会が終了しましたら幹事と一緒に、N・H・K、思恩会、福祉協議会に行って参ります。

2. 次の例会までの行事

(1) ロータリー関係の行事

来週は例会変更で、引き続きX'mas 家族会が行なわれます。5時半、第一インですのでよろしくお願ひします。

13日(木)はI・A・C会員との懇談会が5時から中国飯店で行なわれます。ぜひともできるだけ多く出席して、斜陽化しているI・A・Cの立て直しに力を貸して頂くようお願ひします。

15日(土)はR・A・Cのクリスマスパーティーが6時半から産業会館の四階で行なわれます。これにもできるだけ多く参加して頂いて、元氣をつけてやって頂くようお願ひします。

(2) 一般の行事

12月14日は赤穂義士ゆかりの寺や神社などで義士祭が行なわれます。戦前は、芝居や映画の入りが悪くなると義士ものをやって息をついたと言われるほど、日本人は義士びいきだったようです。義理人情を大切にした国民性の現われだったでしょう。

15日からは年賀郵便の特別取扱いが始まります。

17日は「お観音はん」のお歳夜です。子供の

頃、みぞれの中を父に連れられて、「かじってもかじっても金太郎」の飴やダルマを買ってもらったことが想い出されます。

幹 事 報 告

迎田 稔 君

○例会変更

・遊佐R.C.

12月18日 家族会の為
午後6時 遊佐商工会

・立川R.C.、余目R.C.

12月21日 合同例会の為
午後6時 繁利屋

・八幡R.C.

家族会の為
午後6時 市條公民館

・鶴岡西R.C.

12月21日の例会は家族会の為、12月22日午後6時30分より大山楼にて。

○会報回覧

東京R.C.、山形西R.C.
山形R.C.、鶴岡西R.C.

○例会終了後臨時理事会

青少年交換委員会

(スライド)

オーストラリア政府観光局提供 “オーストラリア ツーリング マチルダ” 広大なオーストラリアの原野を利用した観光の数々を紹介していただきました。

委員会報告

親睦活動委員会

次週例会（12月18日）はクリスマス家族会の為、時間変更になりますが、会員多数の参加をお待ち致しております。

スマイル

吉野 勲君 切山椒の報道番組をしていただき
売上げに貢献してもらったので。
高田 耕助君 創立40周年を迎えると共に、取締役
役に就任しましたので。

ビジター

鶴岡西R.C. 帯谷義雄君・長野正彦君
加藤有倫君・八幡慶二君



P.M. 1:00~2:00

商工会議所ロビーにて

三井健さんと

阿蘇：三井さんこんにちは。ロビーでのインタビューは始めてですが。

三井さん：何を聞かれるか、困

りましたね。まあ、あまりきつくないようにね。

阿蘇：おそれいます。ところで三井さんはお生れは犬年だそうですね。この間は鈴木さんが犬年でしたから続きましたね。一廻り下の犬ですね。

三井さん：そういうことですね。

阿蘇：ところで、三井さんは学校が音楽の方が専攻だったそうですが、何で今の養鶏のお仕事をされたのですか？

三井さん：学徒出陣でね、昭和18年12月でね、内地を廻り終戦ですよ。スタートは弘前でしたがね、それが終戦が私の変化ですよ。

阿蘇：と、申しますと？

三井さん：兄がね、身体が悪かったのですね、父の仕事を手伝う為に一時帰郷したつもりでしたがね、兄が昭和25年で亡くなって、それでね現在ですよ。

阿蘇：そういうわけですか。私もね、音楽と養鶏はどうも結びつかないものですからね。鶏は何羽いるんですか？

三井さん：そうですね、親鶏が3万羽、ヒヨコは20万から30万羽いますよ。

阿蘇：ワッ、すごいですね。泉町のところにそんなにいるんですか？

三井さん：いやいや、七窪に養鶏場があるんですよ。

阿蘇：そうですね。ご自宅のところには30万羽も無理ですよ。ところで、いままででいやだったこととか、つらいと思ったことは？

三井さん：特にないのですがね、学徒出陣でね、東京の三大空襲にあったことかな。

阿蘇：私の父も3月10日の空襲にあったのですが、すごかったそうですね。楽しかったことや良かったことは。昭和22年ですか？

三井さん：昭和22年？ そうですね、やはり人生の最も良いことは結婚式ですね。まあね?! でも大変だったですよ。

阿蘇：楽しいところに大変だったとは何ですか？

三井さん：それはね、当時東北電力はね、節電ということでね、1時間おき位に電気をとめることが多かったんですよ。

阿蘇：そうですね。それでどうしたわけですか？

三井さん：笑い話ですがね、結婚式の最中というより披露宴の最中に電気が消えてね、ろうそくをつけてやったときは、結婚式なのか何なのか（葬式といわれているのかと思います）訳がわからなくなりましたよ。いやいや困りましたよ。（御本人は喜んでいるようでしたが?!……何故でしょう？）

阿蘇：今だから言えるということはあるですか？

三井さん：妻のことですか。お父さんがフィリピンで亡くなってね、実家が農家でね、兄も出征したものでね、農業をやりながら家計を助けてきたことを聞いていますが、今、妻の苦労の大変さを口に出して言えますね。

阿蘇：御趣味は？

三井さん：何もしないことが好きですね。これが趣味かな。

阿蘇：色々ありがとうございます。どんな記事になりますか、お許しをいただき書かせてもらいます。よろしく願いいたします。



(今週の担当者 忠 鉢 徹)